

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2007-81557(P2007-81557A)

【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-012

【出願番号】特願2005-264052(P2005-264052)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 Z

G 0 3 B 17/02

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像装置の外郭をなすフレームと、

前記フレームに取り外し可能に装着され、被写体を撮像して画像データを生成する撮像ユニット本体と、

前記フレームに取り外し可能に装着され、ユーザが把持するためのグリップユニットとを有し、

前記撮像ユニット本体と前記フレームとの間は、前記フレームの内側の面を操作者が把持可能なように、空間が形成されていることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記フレームには前記ユニットを電氣的に接続するための接続部が設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記フレームの外面及び内面の少なくともいずれかに、前記撮像装置を操作する操作者によって操作される操作部材が設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記の目的を達成するために、本発明による撮像装置は、撮像装置の外郭をなすフレームと、前記フレームに取り外し可能に装着され、被写体を撮像して画像データを生成する撮像ユニット本体と、前記フレームに取り外し可能に装着され、ユーザが把持するためのグリップユニットとを有し、前記撮像ユニット本体と前記フレームとの間は、前記フレー

ムの内側の面を操作者が把持可能なように、空間が形成されていることを特徴とする。